

1回(昭2年卒)~23回(昭24年卒) 卒業生2,835名

1回(明43年卒)~39回(昭24年卒) 卒業生3,327名

1回(昭23年卒)~76回(令6年卒) 卒業生31,444名



双鶴同窓会報
発行〒624-0841
京都府舞鶴市引土145
京都府立西舞鶴高等学校
双鶴同窓会
☎ (0773) 75-3131

編集 中西 毅
責任者 中道 一 帆
印刷 オガワ印刷



二〇二三年に「第二十八回日本絵本賞」(全国学校図書館協議会主催)の最終選考会が開かれ、最高賞の日本絵本賞大賞に「PIHOTEKピヒュッテイ 北極を風と歩く」(絵・井上奈奈さん、文・萩田奈永さん、

双鶴同窓生
井上奈奈さん
日本絵本大賞に輝く



講談社)が選ばれました。この絵本の絵を描いた井上奈奈さんは西舞鶴高校の卒業生です。

井上さんは西舞鶴高校在学中に交換留学生として単身渡米し、アメリカワシントン高校(ノースキャロライナ)在学中よりアートワークを発表し続けられました。本校卒業後に武蔵野美術大学へ進学し卒業され、海外でも多数活動されています。

二〇一〇年にはニューヨークで個展を開催され、近年では、建築家・ミュージシャン・写真家など様々な分野のアーティストとのコラボレーション



ヨン企画にも参加しておられます。

二〇一四年より絵本作品を発表し、絵だけではなく、本文を手がけた絵本も多く出版されており、代表作に「ちようちようなんなん」(あかね書房)、「ウラオモテヤマネコ」(堀之内出版)、「さいこのぞう」(キーステージ21)等があります。

井上さんの描いた「くままでのおさらい(特装版)」「ビーナイス」は二〇一八年、装丁の国際コンクール「世界で最も美しい本コンクール」で銀賞を受賞されました。

* 日本絵本賞は、絵本芸術の普及、絵本読書の振興、絵本出版の発展に寄与することを目的として、一九九五年に創設されました。



ご挨拶

オリンピック選手の誕生に向けて

双鶴同窓会会長 内藤 行雄

つつじの花
が新緑に変わ

り、初夏の訪れを感じる季節となりましたが、同窓生の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃は同窓会活動に対し、温かいご支援とご協力をいただき、大変ありがたく感謝申し上げます。

さて、令和に入り、コロナ禍

のもとなかなか満足のいく同窓会活動ができない状況にありましたが、ようやくコロナ禍も落ち着きを見せ、昨年六月十日には懇親会つきの本部総会を、数

年ぶりににぎやかに開催することができました。

また、九月九日には京都支部総会、十一月十一日には阪神支部総会が開催され、支部総会の開催を楽しみにされていた、世帯を超えた同窓生をはじめ、本部から会長、役員、各支部からも支部長、役員の方々がお祝いに駆けつけ、ようやく本来の同窓会活動ができるようになったことを嬉しく思っています。

年明けの一月二日には同窓会の伝統行事である「高校卒業三十周年記念同窓会」が、四十五回生（平成五年卒）によって開

催されました。例年どおり、開会を告げる乾杯の発声と同時に、出席者一同が高校生に戻って、互いに健康で再会できたことを喜び合い、出席の恩師の先生方を囲み、懐かしい思い出を語り合いながら、卒業の目から過ぎた三十年の歳月を一気に埋めるかのように、時間が過ぎるのを忘れ同級生との新たな絆を確かめ合っていました。

来賓である同窓会長、各支部長も、自分たちの三十周年を思い起こしながら、この伝統行事が今後の同窓会活動の発展に繋がることを願い、懐かしさの中で一緒に時間を過ごしました。

ところで、学校創立以来、男女、舞中、西高と多くの卒業生が様々な分野で活躍され、その様子は同窓会報等でお知らせしていますが、いま同窓生の最大の関心事は、この夏開催される

パリオリンピックに、全日本女子バレーのメンバーとしてメンバー入りをしている井上愛里沙選手が、本校出身生徒として「友情のメダル」で著名な大江季雄先輩以来、二人目のオリンピック選手として出場できるかどうかであります。東京オリンピックには惜しくも代表メンバー入りはできませんでしたが、その後日本チームのメンバーに入り、昨年おこなわれたオリンピック予選では、日本チームの中心選手として大活躍されたことは記憶に新しいところです。惜しくもあと一歩のところまで出場権獲得はなりませんでしたが、今年六月十八日に発表される世界ランキングで、残り五枠に入れば出場が決まります。簡単に出場できるとは思いませんが、五月中旬から始まるネーションズリーグをなんとか勝ち抜き、こ

の会報が皆様のお手元に届く頃には、最高のお知らせができればと願っています。久々のオリンピック選手誕生に向けて、同窓会をあげて激励のメールを送り続けたいと思っています。皆様も一緒に心強いメールをよろしくお願ひします。

結びに、今年八月二四日（土）に通信制の同窓会、そして十一月九日（土）に東京支部総会の開催が予定されています。本部総会をはじめ、各支部総会も一人でも多くの同窓生の参加が待たれています。近くにいる同窓生の皆さんを誘い合わせてご出席いただき、世代を超えて交流を深め、同窓会の絆が広がればと願っています。

同窓生の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

校長 田邊 仁司

双鶴同窓会の皆様におかれましては、益々御健勝にて御活躍のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の教育活動に深い御理解と温かい御支援をいただいておりますこと、心より感謝を申し上げます。

本年度、全日制課程には五百七十九名の生徒が在籍しており、一学年五クラスの規模となっております。理数探究科、二年次から文系コース、文系特進コース、理系コースに分かれ

る普通科で学んでおります。高校選抜制度が変わったこともあり、生徒たちは、地元舞鶴市だけでなく、様々な地域から通っております。昨年度の卒業生は、国公立大学に延べ五十六名が合格しました。大学入試制度も多様化してきており、国公立大学合格者のうち二十九名が学校推薦型選抜、総合型選抜（旧AO入試）による合格でした。探究活動やボランティア活動等で身につけた力を活かして進路を切り拓く生徒が増えてきてお

ります。進路状況の詳細は、十一ページを御覧ください。通信制課程には百四十四名が在籍しており、高校卒業資格取得や希望進路の実現を目指して、スクーリングとレポート作成に励んでおります。また、定時制通信制高等学校総合体育大会や定時制通信制生徒生活体験発表大会、体育祭や芸術祭、校外学習といった様々な学校行事にも取り組み、幅広い年代の生徒たちが熱心に学んでおります。

さて、令和五年十二月に京都府教育委員会によって策定された本校全日制のスクール、ミッション（各学校の存在意義や期待されている社会的役割、目指すべき学校像）は、理数探究科、普通科を設置する高校として、地域連携や高大連携による探究

活動、学習と部活動の両立を充実させることにより、高い学力を身に付け、知、徳、体の調和のとれた人間の形成を目指し、将来の科学技術分野を担う人材を育成する」となっております。理数探究科や普通科理系コースでの教育に期待されていると感じておりますが、文系や文特コースでの取組も大切に、多様な希望進路を実現するための教育活動を行ってまいります。一方、通信制のスクール、ミッションは一通信制課程を設置する公立高校として、様々な学習意をもつ個々の生徒に対応した添削やスクーリング等によって、生涯学習と社会的自立の基礎となる学力を身に付け、社会に主体的に参画できる心豊かな人材を育成する」となっ

ております。通信制で学ぶ目的は様々ですが、多様な生徒たちの学びを支えてまいります。私たち教職員一同は変化の激しい時代を生き抜く力を育むため、いっそう努力してまいりますので、同窓会の皆様方の一層の御理解と御協力をお願いいたします。

結びにあたり、双鶴同窓会の御発展と会員の皆様への御健勝と御多幸を心より祈念し、御挨拶とさせていただきます。



双鶴同窓会会計報告

令和5年度一般会計報告書

(令和5年5月1日～令和6年4月30日)

I 収入の部 2,857,725円

項目	決算額	摘要
前年度繰越金	1,775,715	
人会金	776,000	@4,000×194名(全日制193名、通信制1)
記念誌等売上	6,000	校歌等CD売り上げ @500円×12枚
寄附金	300,000	平成5年卒業生から(卒業30周年記念同窓会事務局)
雑収入	10	預金利息 10円
合計	2,857,725	

II 支出の部 1,429,036円

項目	決算額	摘要
事業費	780,265	各支部補助、会報印刷代、総会懇親会補助
会議費	44,516	理事会・総会会場費、理事会・総会用消耗品(マルチカーフ他)
支部関係費	119,640	京都・阪神支部総会祝儀、旅費
通信交通費	81,963	同窓会報郵送料・専用HPサーバー・総会開催案内郵送料他
事務局費	96,602	判的印刷、定食メニュー代、祝儀、会費、ウイルスバスター・サイゼン校校更新料
特別会計へ繰入	300,000	平成5年卒業生寄附 特別会計へ振替
雑支出	6,050	前理事長ご逝去に伴うお供え
合計	1,429,036	

III 残高の部 1,428,689円(次年度へ繰越)

令和5年度特別会計報告書

(令和5年5月1日～令和6年4月30日)

I 収入の部 10,028,768円

項目	決算額	摘要
前年度繰越金	9,728,576	
繰入金	300,000	平成5年卒業生寄附
雑収入	192	預金利息
合計	10,028,768	

II 支出の部 0円

項目	決算額	摘要
事業費	0	
合計	0	

III 残高の部 10,028,768円(次年度へ繰越)

以上、報告します。

令和6年5月10日

双鶴同窓会 会長 内藤 行 雄
 〃 理事長 渡辺 弘
 〃 会計 白井 俊 博

令和5年度 事業報告

令和5年

4月21日(金) 第1回本部役員会 於 双鶴会館

- (1) 令和5年度双鶴同窓会役員について
- (2) 総会について
- (3) 令和4年度決算報告について
- (4) 会報発行の進捗状況について
- (5) その他

6月2日(金) 第2回本部役員会 於 双鶴会館

- (1) 総会について
- (2) 令和4年度決算報告について

6月10日(土) 同窓会報「双鶴」第47号発刊(一般会員向け)

令和5年度理事会・総会開催 於 舞鶴グランドホテル

- (1) 理事会 38名 参加
- (2) 総会 81名 参加
- (3) 記念講演

演題「お菓、たくさん飲んでいませんか」
 ～ポリファーマシーを見直そう～
 楠本正明氏(高28回)

- (4) 懇親会 65名 参加

9月9日(土) 双鶴同窓会京都支部総会開催
内藤行雄会長以下5名が出席 於 京都アワホテル11月11日(土) 双鶴同窓会阪神支部総会開催
内藤行雄会長以下3名が出席 於 新大阪ワントンホテル

令和6年

1月2日(火) 高校45回生卒業30周年記念同窓会

内藤行雄会長が出席 於 舞鶴グランドホテル

3月1日(金) 同窓会報「双鶴」第48号発刊(卒業生向け)

会計監査報告

- 1 監査実施年月日 令和6年5月16日(木)
- 2 監査実施場所 京都府立西舞鶴高等学校
- 3 監査の対象 双鶴同窓会にかかる会計帳簿、収入・支出証拠書類及び預金に関すること

上記のとおり監査を行った結果、帳簿、証拠書類、
 保管預金ともに正確に処理されており、適正であった
 ことを報告します。

令和6年5月16日

双鶴同窓会長 様

双鶴同窓会
 会計監査 上山 利彦 印
 会計監査 齋藤 友幸 印

卒業! 30周年!!

第45回卒業生

令和六年一月二日に、平成五年の西舞鶴高校卒業生による「卒業三十周年記念同窓会」が、舞鶴グランドホテルにて開催されました。当日を迎えるにあたり、半年前から久しぶりに集めたクラス委員の皆様には、大変お世話になりました。クラス委員を含む我々実行委員会は、同窓生より先に再会を果たしたわけですが、私自身、懐かしいという感想よりは、三十年がこんなに一瞬で当時に戻れるものかと驚きを隠せませんでした。それほど高校生活というものは、密に三年間たったということでしょう。

しかし、自然災害とは予測なしにやってくるものです。元日には能登半島地震により北陸地区の一部が大きく被災しました。同窓生で出席予定だった方の中には、交通網が切断され欠席を余儀無くされた方もおられました。津波警報まで発令された舞鶴市でしたが、幸いにも本市においては大きな災害には至りませんでした。

さて、同窓会当日ですが、絶好の天候に恵まれ、次々と集まる同窓生からは笑顔と挨拶が飛び交い、スタート前からボルテージは最高潮だったと思います。参加人数は過去に例を見ない百六十名超という参加者で、会場は熱気に包まれました。時に高校時代というのは、人生においても重要な、大人になる直前の青春時代かと思えます。切替球勝したその記憶そのままに、同窓会は大成功となりました。西舞鶴高校を卒業したという一つの共通点により、三十年の時を楽しい思い出として、大きな足跡を残すことができました同窓会であったと、実行委員長として自負します。何より皆様と笑顔あふれる時間を共有できたことを嬉しく思います。

最後まで実行委員会の皆様にはお世話になりました。また、御来賓の皆様には、温かく会を見守りいただき感謝いたします。これから西舞鶴高校の卒業生という肩書を大事にし、大きく羽ばたく同窓会が引き続き開催されることを祈念して、お礼の挨拶とさせていただきます。

第四十五回卒業生

三十周年記念同窓会実行委員長 中道一帆



実行委員役員



実行委員会



実行委員長



3組



2組



1組



6組



5組



4組



9組



8組



7組



12組



11組



10組

点描

(支部だより)

支部
部会



東京支部

東京支部は、本年十一月九日(土)に新宿京王プラザホテル「扇の間」にて開催します。園野支部長のもと、幹事一同協力し準備をしております。

会報誌「いわし雲」も第十九号となり、今回は「高校野球特集」として昭和二十八年、昭和四十七年の京都府大会優勝をテーマに特集を考えており、同窓生や母校、西図書館に協力を得て資料を収集しております。

総会・懇親会の出席者も高齢化が進み、出席者数の減少は各支部の課題であります。今回は会員百名の出席を目標に、東京支部会員をはじめ地元舞鶴、阪神支部、京都各支部の会員の皆様にも幅広くお声掛けし、親交を深める総会にして参りたいと思います。人と人との関りが疎くなってきた現在、会員の皆さまにも楽しんでいただき、

同級生をはじめ先輩・後輩の繋がりをもち、これからの同窓会運営に携わってもらえる体制が出来れば良いかと考えます。

JR線の延長や私鉄相互乗り入れにより都心への直通電車が多様化され、東京近県からでも二時間前後で来られるようになりまし。これまでも、新潟県・栃木県・茨城県など遠方よりご出席頂いておりますが、より多くの方にご出席が、より多くの方にご出席いただけますよう企画しております。

総会・懇親会においては、舞鶴市や観光協会の協力を得て地元産品の販売はもちろん、懇親会の内容を幹事の皆さんと話し合い、大いに盛り上がる会を開催したいと考えております。本部をはじめ京都支部、阪神支部の皆様にもご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(支部長 澤田謙二)



阪神支部

菊花の香り高い昨年十一月十一日、コロナの影響により四年ぶりとなる阪神支部総会・懇親会が新大阪ワシントンホテルプラザにて



開催されました。

田邊校長、内藤会長をはじめ舞鶴本部役員、東京支部役員、京都支部役員のご来賓臨席のもと総勢七十三名で阪神支部総会が華々しく開催されました。

今回出席者の中には遠く沖繩から出席の同窓生もいました。

開会に先立ち物故会員の方々に黙祷を捧げその後全員で校歌を斉唱し総会が始まりました。

支部長挨拶に引き続き内藤会長から祝辞を頂きました。田邊校長からは勉強、クラブ活動に元気に取組んでいる西高生のお話を伺いました。

議事に入り活動報告、会

計報告が承認され次期支部長の選出・副支部長の協賛では新たに末廣副支部長が協賛され、副支部長三人体制になりました。

前々支部長、鈴木さんの乾杯挨拶で懇親会がスタートしました。懇親会では自由談話時間と催し物時間の配分が大切です。司会者が上手く調整して頂きました。懇親会の主な催し物は司会者からの同窓生に対するインタビューでした。

前支部長福田さんのハートモニカ演奏や各グループによる応援歌や校歌の合唱もありました。

歓談時間には西高出身のバレーボール井上愛里沙選手「私がんぼる」とソプラ



ノ歌手田中彩子さんのプロ野球での国歌斉唱ユーチューブをバックグラウンドミュージックのようにスクリーンに写し出しました。

今回は多くの同窓生にインタビューをしました。事前にシナリオを準備していたのですが、多くの同窓生は自分の人生を熱く語り、遠き思い出を熱心に語ってくれたのが印象的でした。

次回の阪神支部総会・懇親会は来年十一月予定です。多くの同窓生の参加を願っています。

(支部長 谷村久見雄)





京都支部

コロナ禍もやつと下火となりましたので、京都支部の懇親会を再開することとし、令和五年九月九日に京都タワーホテルにて京都支部総会・懇親会を開催いたしました。田邊校長先生、内藤会長はじめ本部役員の方々、東京支部ならびに阪神支部の支部長、役員の方々のご臨席を賜り、総勢約六十名で賑やかに催すことができました。準備をお願いした準備委員会の皆さんをはじめ、ご協力をいただいた方々に厚くお礼申し上げます。



この総会・懇親会は、再開することに重点を置いたこともあり不行き届きなどころもありましたが、参加いただいた会員の皆さんには楽しんでいただけたものと思っております。また、本会に出席の高二十五回卒業生のグループに、京都新開の「旧交歓談」という同窓会の様子などを投稿するコーナーに応募していただき、今年一月末に掲載されました。会の様子をこの記事を引用して紹介しますと、登壇者は「舞鶴かまぼこ作りの体験教室を開催している話、酒造りを通して地域おこしをしている話、舞鶴の中学生の現状、おやじバンドでの活動など濃密な人

生を次々と語る」というものでした。また、記事には「双鶴同窓会京都支部」の名前も掲載され、本支部の活動を広く知っていただくのに大いに役立ったものと思っております。

総会・懇親会の開催はコロナ禍による三年間の中止に、通常の開催間隔の二年間が加わり、五年ぶりの開催ということになりました。支部活動の中心は、やはり総会・懇親会の開催であり、会員が集い交流することが同窓会組織の維持発展には欠かせません。この五年間の休止は支部活動を停滞させることにならざるを得ず、総会・懇親会への参加者数の増加を図ることや、比較的若い層へ参加者を拡大することなどが、急ぎ検討すべき課題と考えております。

（支部長 齋藤敏明）




通信制の会

新しい年度を迎え、単位の通信制では、二十一名の新入生が入学。さらに、転入・再入学生十三名も加わったと聞いています。本学でのスクーリングやレポート作成など、自学自習に努めながら、卒業までの全単位修得に向けて日々計画的に学習を進め、卒業の日を迎えてください。

三月一日の卒業式では、十四名の生徒が卒業されました。全通合同卒業式の後、改めて通信制卒業証書授与式がしし教室で行われ、校長先生から一人ひとりの生徒に、卒業証書及び表彰状が授与されました。通信制教育振興会から優秀生徒が表彰され、また教育研究会からは該当生徒に会長賞、そして学校からは校長賞が授与されました。それぞれの大きな夢を持って、生涯走り続けて欲しいと思います。

双鶴同窓会通信制の会では、二年に一度、同窓会を開催しています。舞鶴グラウンドホテルにて、双鶴同窓会会長様をはじめ校長先生、副校長先生、恩師の先生方の御出席を賜り、同窓会（総会・懇親会）を八月二十五日

（上）に行う予定です。総会での事業報告、会計報告などが承認された後、懇親会では恩師の先生方を囲んで、懐かしい母校での思い出話や近況報告などで交流を深め、賑やかにそして楽しい一日になればと願っています。

昨年十一月十九日には通信制文化祭（彩雲祭）が開催され、「生活体験発表」や「作品展」文化のつどいなど、生徒会役員やスタッフの方々を中心に多くの生徒の皆さんが協力し、素晴らしい内容の文化祭だったと感じました。

新型コロナウイルス感染症が五類に移行し、今年も延期していましたが通信制同窓会を八月二十五日（土）に開催予定としています。通信制の同窓会は二年に一度、卒業生が一堂に会える貴重な機会です。御案内させていただきましますので、ぜひ御参加をよろしくお願いいたします。

今後とも、双鶴同窓会通信制の会の活動に、御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（通信制の会会長 岩田 護）



舞鶴市80年のあゆみ



昭和18年(1943年)に舞鶴市と東舞鶴市が合併し舞鶴市が誕生し、昨年(2023年)に市制80年となりました。そこで舞鶴市の歩みを写真で振り返ります。

なお、写真はすべて舞鶴市が発行されました「80th Anniversary 未来に希望がもてるまち 舞鶴」(2023 舞鶴市市制施行80周年記念誌)から提供していただきました。



市民病院 昭和22年開院



舞鶴引揚援護局 昭和21年開庁



市役所庁舎 昭和20年代



加佐町合併を祝った平野屋通りパレード 昭和32年



台風13号で壊れた万代橋 昭和28年



開校当時の海上保安学校 昭和26年頃



市庁舎竣工式典 昭和38年



ナホトカ市と姉妹都市を提携 昭和36年



伊勢湾台風で浸水した岡田郵便局 昭和34年



引揚記念公園・除幕式 昭和45年



舞鶴・小樽港にすずらん丸が就航 昭和45年



建設中の舞鶴工業高等専門学校 昭和40年



大連市と友好都市を提携 昭和57年



第1回ちゃったまつり 昭和51年



日ソ定期配船始まる 昭和50年



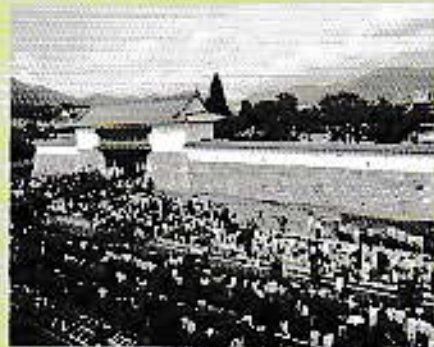
西港に多目的クレーン完成 平成元年



京都国体 昭和63年



引揚記念館オープン 昭和63年



田辺城まつり 平成4年



舞鶴自動車道が舞鶴西ICまで開通 平成3年



KTR 開業式 平成2年



浦入遺跡から国内最古最大級の丸木舟が出土 平成10年



新東舞鶴駅が完成 平成8年



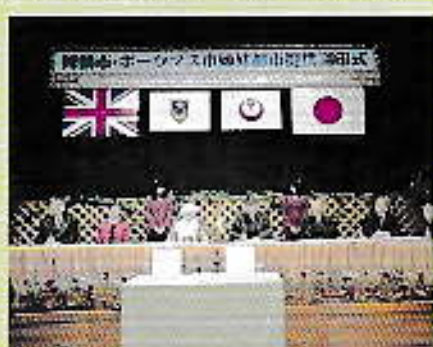
赤れんが博物館オープン 平成5年



スタジイの巨木を確認 平成12年



舞鶴線電化出発式 平成11年



ポーツマス市と姉妹都市提携 平成10年



山口有希選手がアテネオリンピックで4位入賞 平成16年



台風23号で甚大な被害 平成16年



天皇皇后両陛下のご訪問 平成12年



大雪で観測史上最高の87センチ
平成 24 年



舞鶴国際ふ頭完成 平成 22 年



新南極観測船「しらせ」が就役 平成21年



海フェスタ京都開催 平成 26 年



第 1 回赤れんがハーフマラソン
平成 25 年



赤れんがパークランドオープン
平成 24 年



日本遺産に認定 平成 28 年



引揚記念館収蔵資料がユネスコ世界
記憶遺産に登録 平成 27 年



子育て交流施設あそびあむ開設
平成 27 年



市認定こども園を開園 令和元年



7月豪雨で甚大な被害 平成 30 年



クルーズ客船寄港最多の30回 平成 29 年



小倉西舞鶴線新白鳥トンネル
貫通 令和 5 年



東京五輪ウズベキスタン柔道代表
選手団を受け入れ 令和 3 年



新型コロナワクチン集団接種
開始 令和 3 年



小中学校1人1台タブレット
配付 令和 3 年

令和5年度 がんばってます 部活動

全 日 制

男子ソフトテニス部

◆令和5年度近畿高等学校ソフトテニス選手権大会 (7月16日)

種目：団体戦

石間 日彩 (3年)・高峰 璃音 (3年) ペア
 山崎 奏汰 (2年)・小林 元慎 (3年) ペア
 長倉 由侑 (2年)・左近 滉典 (2年) ペア
 波多野優馬 (2年)・山口 颯太 (2年) ペア



剣 道 部

◆令和5年度第61回近畿高等学校剣道大会 (7月16日～17日)

種目：団体戦

荒木 終人 (1年)・高田 瑛斗 (2年)・小西 悠徳 (2年)
 山本 大翔 (2年)・中村 煌喜 (3年)



水 泳 部

◆第7回近畿高等学校新人水泳競技大会 (10月7日～8日)

種目：女子100mバタフライ

土井 彩百里 (1年)



放 送 部



◆第70回NHK杯全国高校放送コンテスト (7月25日～27日)

種目：朗読部門

森田 康太郎 (3年)

通 信 制

- ◆令和5年度京都府高等学校体育連盟定時制通信制
 両丹支部卓球選手権大会
 兼 第56回全国高等学校定時制通信制卓球大会両丹予選会
 ●開催日：5月21日(日)
 ●会 場：京都府立綾部高等学校本校
 ●結 果：女子シングル「優勝」小田 かおり

- ◆第56回全国高等学校定時制通信制卓球大会京都府予選会
 ●開催日：6月3日(土)
 ●会 場：京都府立綾部高等学校本校
 ●結 果：女子個人「優勝」小田 かおり

- ◆令和5年度全国高等学校定時制通信制体育大会
 第56回卓球大会
 ●開催日：8月8日(火)～8月10日(木)
 ●会 場：駒沢オリンピック公園総合運動場屋内卓球場(東京都)
 ●結 果：女子個人「4回戦進出」小田 かおり

- ◆令和5年度京都府高等学校総合体育大会
 第74回両丹高等学校定時制通信制総合体育大会
 ●開催日：9月16日(土)
 ●会 場：福知山市三段池公園総合体育館
 ●結 果：ソフトバレーボール「優勝」
 浦田 優、浦川 博司、原 咲歩、新井 美咲、
 森本 菜帆、杉山 訓崇、海透 早美
 男子バドミントン「3位」
 田野島 想一朗、亀井 徠愛

- ◆第75回京都府高等学校定時制通信制総合体育大会・
 陸上競技の部
 ●開催日：9月17日(日)
 ●会 場：京都府立丹波自然運動公園陸上競技場
 ●結 果：女子砲丸投げ「優勝」増留 葵
 男子5000m「第2位」櫻井 悠登

- ◆令和5年度第59回近畿高等学校定時制通信制課程体育大会
 陸上競技大会
 ●開催日：10月29日(日)
 ●会 場：ベイコム陸上競技場(兵庫県尼崎市)
 ●結 果：女子砲丸投げ「第2位」増留 葵
 男子5000m「第3位」櫻井 悠登

- ◆令和5年度京都府高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会
 ●開催日：9月7日(木)
 ●会 場：京都府総合教育センター
 ●結 果：「奨励賞」海透 早美

- ◆令和5年度近畿地区高等学校通信制 生徒生活体験発表大会
 ●開催日：10月7日(土)
 ●会 場：奈良女子高等学校(奈良県奈良市)
 ●結 果：「奨励賞」海透 早美





同窓会員の皆様には、本校の教育活動とリわけ進路指導に對して御支援をいただき、誠にありがとうございます。今までの「西高」の伝統に違ふことなく、多くの生徒が惜しみない努力を続け、進路実現を果たすことができました。

就職では学校紹介による民間企業に1名が内定しました。舞鶴市を含む京都府北部地域の多くの事業所から求人票を御送付いただき、誠にありがとうございました。公務員では国家公務員、海上自衛隊、海上保安学校、京都府事務職員、京都府警察などに延べ7名が合格しました。本校は2年次より、公務員試験対策講座、労働法規に係る学習会などを通じて、職業観や勤労観を醸成し、社会人としての自覚を促す機会としています。



母校Report

進学では国公立大学に、神戸大学3名、京都工業繊維大学6名を含む56名が合格しました。国公立大学の合格者のうち、84%の生徒が3年間部活動を続け、進路実現を果たしました。基本的な生活習慣を確立し、学習に真摯に取り組む傍ら、休み時間や通学時間を上手に活用する姿が見られました。第一志望突破に向け、安易に妥協しないこの姿勢こそ、西高の校訓「究理・尚志」そのものでもありません。また、私立大学でも、いわゆる関関同立に延べ27名が合格しました。また、京都産業大学に延べ41名、龍谷大学に延べ40名、近畿大学に延べ29名が合格するなど、主要大学にも多くの合格者を輩出しました。

本校卒業後、多くの生徒は故郷を離れますが、将来は帰郷し、地域の活性化に向けて、一層貢献して欲しいと願っています。また、生徒には崇高な理念を抱き、社会の変化に臨むことなく、校訓の「敬人」が謳うように共生社会の実現に向けて、協働・共感の姿勢を一層育んでほしいと感じています。

会員の皆様には、後輩たちにこれまでと同様の御支援を賜りたく申し上げます。川上 頌広 進路指導部長

進路決定先

進学 (184名)			就職 (4名)	
4大	短大	専各他	民間	公務員
148	8	28	1	3

卒業生の進路状況

京都府立西舞鶴高等学校
双鶴同窓会会則

- 第1条 本会は双鶴同窓会という。
- 第2条 本会は本部を西舞鶴高等学校におく。会員多数在任の地には支部を設けることができる。
- 第3条 本会は会員の教養を高め、相互の親睦を図ると共に母校の発展を援助することを目的とする。
- 第4条 本会は次の会員および客員を以て組織する。
 1. 会員 (イ) 舞鶴高等学校、舞鶴第一高等女学校卒業生 (ロ) 舞鶴中学校、舞鶴第一中学校卒業生 (ハ) 西舞鶴高等学校卒業生 (ニ) 以上の学校に在学したもので入会を希望する者
 2. 客員 1項に該当する学校の旧職員および現職員
- 第5条 本会の目標達成のため委員会をおくことができる。委員長には副会長の一人を充てる。
- 第6条 委員会および支部の会則は別に之を定める。
- 第7条 本会に次の役員をおく。
 1. 会長 会員の申より総会から選出する。
 2. 副会長 理事の中より若干名を選出する。
 3. 理事長・副理事長 理事の中より各1名会長が委嘱する。
 4. 庶務理事・会計理事 学校より推薦した若干名および評議員より若干名を会長が委嘱する。
 5. 理事 評議員の中より適當多数を委嘱する。
 6. 評議員 各学年において互選により適當多数を選出する。
 7. 監査 評議員の中から2名選出する。
- 第8条 役員の仕事は次の通りとする。
 1. 会長は本会を代表し会務を総理する。
 2. 副会長は会長を輔佐し、会長事故あるときはこれに代わる。
 3. 理事長は会務全般を処理し、副理事長は理事長を輔佐し理事長事故あるときはこれに代わる。
 4. 庶務理事は庶務を処理し、会計理事は会計を処理する。
 5. 理事は理事会において総会決議事項を審議する。
 6. 評議員は総会で総会決議事項を審議する。
 7. 監査は会計を監査する。
- 第9条 役員の仕事は2ケ年とする。
- 第10条 本会に顧問若干名、客員若干名を置くことができる。顧問に西舞鶴高等学校長その他の適當な学校関係者を会長が委嘱する。客員に元会長を会長が委嘱する。
- 第11条 本会の経費は会費およびその他収入をもってこれに充てる。
- 第12条 本会の入会に際して会費4,000円を納める。
- 第13条 本会に第3条の目的を達成するための事業を行う。
 1. 会員名簿および会報の発行
 2. 会員の慶弔および慰問
 3. その他必要な事業
- 第14条 本会は毎年1回総会を開く。総会は理事、監査、評議員で構成する。(平成21年6月13日改定：第5条、第6条、第7条、第8条、第14条、第15条を改定する。(平成24年6月9日) ③改定：第7条4項を改定する。(平成28年6月11日)
- 第15条 会員は転居等の変動を遅滞なく本部に報告するものとする。
- 第16条 本会会則の変更は総会の決議による。
 - ①改定：第14条末尾の「部会」は毎年1回これを開く。」を削除する。(平成21年6月13日)
 - ②改定：第5条、第6条、第7条、第8条、第14条、第15条を改定する。(平成24年6月9日)
 - ③改定：第7条4項を改定する。(平成28年6月11日)

双鶴同窓会各支部役員

〔東京支部〕

支部長 園野耕一 (昭48高)
 事務局長 澤田謙二 (昭48高)
 〔事務局〕〒216-0035
 神奈川県川崎市宮区馬場4丁目18番14-301号
 藤和宮崎台コープ(澤田)
 TEL 060-1025-3695 (携帯)
 メールアドレス jury_22@lagoon.ocn.ne.jp

〔京都支部〕

支部長 齋藤敏明 (昭36高)
 事務局長 志茂洋文 (昭49高)
 〔事務局〕〒602-8161
 京都府京都市上京区新御幸町33-1 (志茂)
 TEL 090-2102-5017 (携帯)
 メールアドレス h.simons32@earthup@nifty.com

〔阪神支部〕

支部長 谷村久見雄 (昭42高)
 事務局長 阪根章二 (昭48高)
 〔事務局〕〒586-0021
 大阪府河内長野市原町4-8-1712 (坂根)
 TEL 0721-56-7124 (自)
 メールアドレス oyajicrh-s@docomo.ne.jp

〔通信制課程役員〕

通信制の会会長 岩田 護 (平9通)本部・理事

双鶴同窓会本部役員

会長 内藤行雄 (昭41高)
 副会長 南部正治 (昭51高)
 志摩敏樹 (昭56高)
 左織美紀恵 (昭56高)
 佐古田政彰 (昭58高)
 理事長 渡辺 弘 (昭48高)
 副理事長 林 博之 (昭59高)
 庶務理事 米山隆一郎 (昭51高)
 (ホームページ担当)
 森 宏昭 (昭56高)
 中西 毅 (昭49高)
 梅原みちる (昭61高)
 阪 昌代 (昭61高)
 木南成明 (平19高)
 山本美咲 (平28高)
 会計理事 白井俊博 (平19高)
 監査 甲斐嶋純二 (昭48高)
 福井啓介 (昭52高)
 顧問 岡田澄仁 司 校 長
 奥本有紀 全日制副校長
 武内 勇 通信制副校長
 奥野久美子 事務 長
 ◎通信制の会会長 岩田 護 (平9通)本部・理事 参与 南 房夫 第3代会長(昭60)

双鶴同窓会ホームページ

<http://www.soukaku.com/>

寄稿のお願い

同窓会報に原稿をお寄せください。「同期会などの様子」「同窓会員さんの御活躍の様子」など文章や写真でお寄せください。
 西舞鶴高等学校双鶴同窓会「会報編集係」までよろしくお願ひします。

編集後記

今年の一月二日に開催した卒業三十周年同窓会では、生徒、米宮総勢一六三名の出席者が集まり、卒業式以来の再会となる人もたくさんいました。顔をみると一瞬で二十年前に戻り当時の思い出話や現状について話が盛り上がりました。未来の目標に向かって勉強にクラブ活動にとにかく毎日が精いっぱいだった高校生活が終わって早三十年、十二分に大人になってからの再会は皆さん感慨深いものだったと思います。まさか三十年後にこのような形で再会出来るとは思いませんでした。ラインなどの便利なツールがあるので、また今後も今回来られなかった方も含めて、それぞれ楽しめるのではないのでしょうか。当時、新任だった田邊先生が校長先生として参加してくださいました。今年から長女がお世話になることになったり、何かと深いご縁も感じずにはいられません。三〇年前不友をかき消すために、とにかくがむしゃらに頑張っていた自分に言っておきたいです。「三十年後素晴らしいご縁があるから安心して頑張れ。」と。

編集後記なのに同窓会のことばかりになってしまいました。今回の会報の発行にあたりまして、同窓会会長様と校長先生をはじめ、諸先輩方から投稿いただきましたことに深く感謝しまして、厚くお礼申し上げます。同窓会と会報の編集作業を通じて、また西高に関わられて大変幸せに感じます。とても貴重な経験をありがとうございました。

編集委員 平成五年卒業 喜多真一